

横浜市立永谷小学校学校教育目標図

日本国憲法
教育基本法
学習指導要領
横浜教育ビジョン
横浜版学習指導
要領

学校教育目標
学校大すき このまち大すき みんながやく永谷の子
◎心の内側からわき起こる確かな自信を培います。
◎豊かなコミュニケーション力を育てます。

子どもの思い
教職員の思い
保護者の思い
「まち」の思い
子どもの成長過程

具体目標

- ◎心の内側からわき起こる確かな自信を培います。
・学びの基礎・基本をもとに、自分の問題を見つけ、意欲的に取り組もうとする子を育てます。【知】の教育(確かな学力)
・礼儀や規律を大切に、自他を認め合おうとする子を育てます。【徳】の教育(豊かな心)
・心と体の健康な生活をつくり、命の大切さを実感する心を持つようとする子を育てます。【体】の教育(健やかな体)
- ◎豊かなコミュニケーション力を育てます。
・自分の周りや地域に目を向け、人のために役立つようとする子を育てます。【公】の教育(公共心と社会参画意識)
・様々な人と様々な方法でのコミュニケーションを通して、自分らしさを表現しようとする子を育てます。【開】の教育(国際社会に寄与する開かれた心)

6つの重点的課題

- ①豊かな心の育成
- ②健康でたくましい体の育成
- ③国語力及び基盤的能力の育成
- ④コミュニケーション能力の育成
- ⑤情報化社会を生き抜く能力の育成
- ⑥社会の変化に対応する能力の育成

4つの具体的取り組み

- ①『横浜の時間』の創設・充実
- ②小中学校英語教育の推進
- ③読解力向上へ向けた横浜型指導モデルの推進
- ④一人ひとりのニーズに対応した教育の実現

学年ブロック目標

	心の内側からわき起こる確かな自信を培います。	豊かなコミュニケーション力を育てます。
低学年	知: やりたいことを見つけ、最後までがんばれる子を育てます。 徳: きまりを守り、友だちと楽しく活動できる子を育てます。 体: 心と体に関心をもち、規則正しい生活を心がける子を育てます。	公: 自分から進んで人やものにかかわろうとする子を育てます。 開: 様々な人とのかかわりを通して、自分の思いを表現しようとする子を育てます。
中学年	知: 自分で課題を見つけ、進んで活動する子を育てます。 徳: 礼儀正しく振る舞い、友だちのよさを見つけて仲良くする子を育てます。 体: 心と体の健康に関心をもち、命の大切さに気づく子を育てます。	公: 身近な体験活動を通して、自分の周りに目を向け、いろいろな人と協力して活動する子を育てます。 開: 人の話をしっかりと聞くことができ、自分の考えを言おうとする子を育てます。
高学年	知: 学習してきたことを生かし、意欲的に課題を解決しようとする子を育てます。 徳: マナーを大切に、自他を認め合おうとする子を育てます。 体: 健康な生活をおくり、全ての命の大切さを感じる子を育てます。	公: 最高学年としての自覚をもち、学校のために取り組もうとする子を育てます。 開: 社会とのかかわりの中で、自分らしさを表現しようとする子を育てます。

各教科等の指導の重点

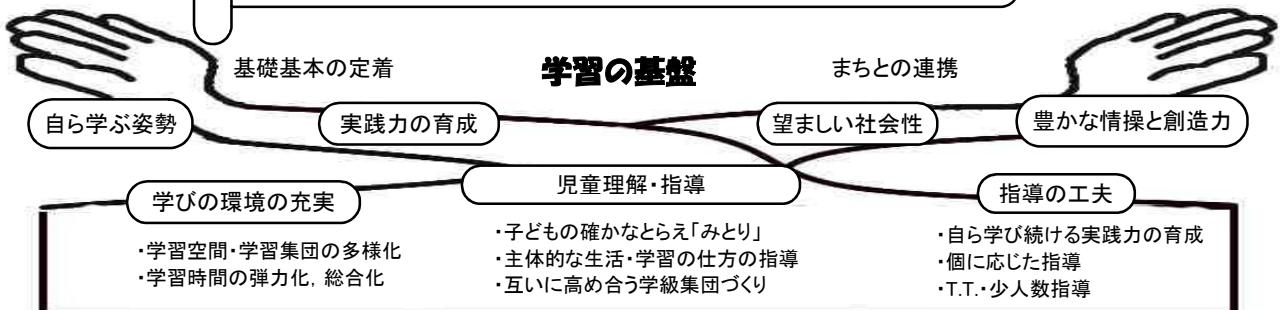
国語 社会 算数
理科 生活 音楽
図工 家庭 体育

永谷小特色ある教育活動

- ①高学年の児童がリードし、創意工夫した活動をする縦割り「なかよし活動」
- ②地域の教育力を活用した授業の展開
各教科・総合的な学習の時間「ほのぼのタイム」
- ③人や自然とのふれあいを重視した「上郷宿泊体験学習」(4年)、「子浦宿泊体験学習」(5年)「片品・日光宿泊体験学習」(6年)
- ④保護者・地域の方々を招いての「スポーツフェスティバル」・「音楽発表会」

教育課題の取組目標

人権教育 福祉教育
国際理解教育
食教育 健康教育
児童指導 環境教育



異校種間及び地域との連携・協力

幼稚園
保育園

3校共通取り組み目標『笑顔で あいさつ』
永野小学校
『まちを見つめ まちから学び まちとともに歩む』

上永谷中学校
将来にわたり生徒が学習を継続し質の高い職業生活・市民生活に参入することを目的とし、主体的で粘り強く自ら考え決定し行動する力を身につけさせ、国際社会で貢献する総合的な生きる力を育みます。

地域